

世界のベストチョイスをお届けする独立系半導体商社

富士エレクトロニクス株式会社

平成19年2月期 決算説明資料

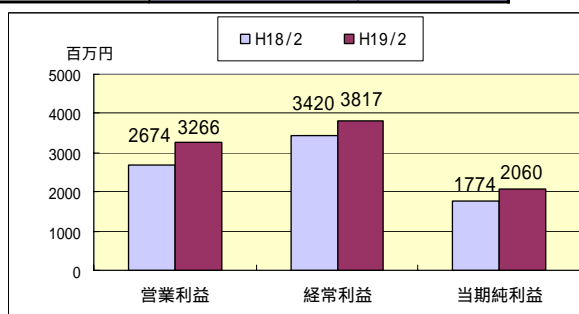
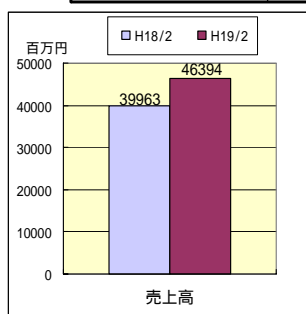
平成19年4月6日

〒113-8444 東京都文京区本郷3-2-12 御茶の水センタービル
TEL 03-3814-1411(大代表) FAX 03-3814-1414
<http://www.fujiele.co.jp>

平成19年2月期 連結業績

百万円

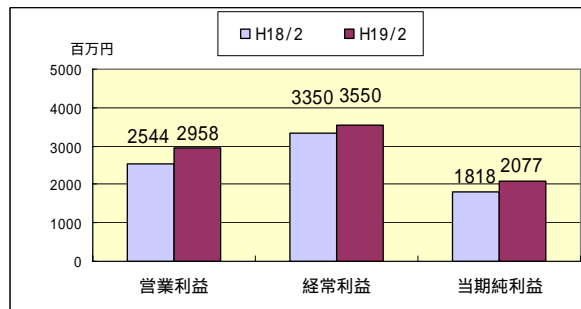
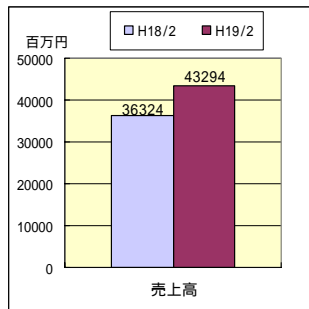
	平成18/2	平成19/2	前期比
売上高	39,963	46,394	116.1
粗利率	15.9	15.9	
営業利益	2,674	3,266	122.1
経常利益	3,420	3,817	111.6
当期純利益	1,774	2,060	116.1



平成19年2月期 単体業績

百万円

	平成18/2	平成19/2	前期比
売上高	36,324	43,294	119.2
粗利率	15.2	14.5	
営業利益	2,544	2,958	116.3
経常利益	3,350	3,550	106.0
当期純利益	1,818	2,077	114.3



平成19年2月期 予想比較

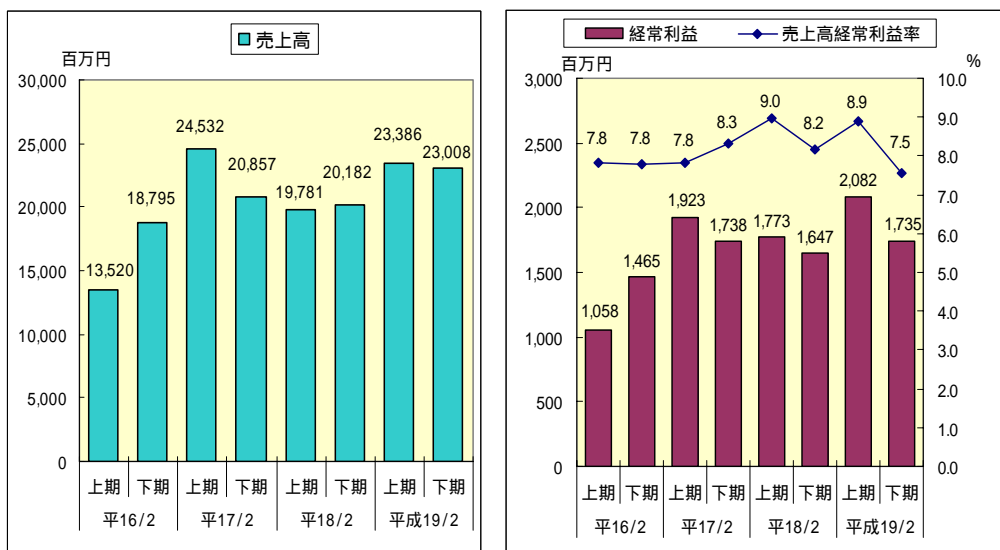
百万円

	連結			単体		
	期初	結果	期初比	期初	結果	期初比
売上高	46,088	46,394	100.7	42,000	43,294	103.1
粗利率	16.3	15.9		15.1	14.5	
営業利益	3,570	3,266	91.5	3,207	2,958	92.3
経常利益	3,826	3,817	99.8	3,505	3,550	101.3
当期純利益	2,253	2,060	91.5	2,076	2,077	100.1

連結主要指標の状況

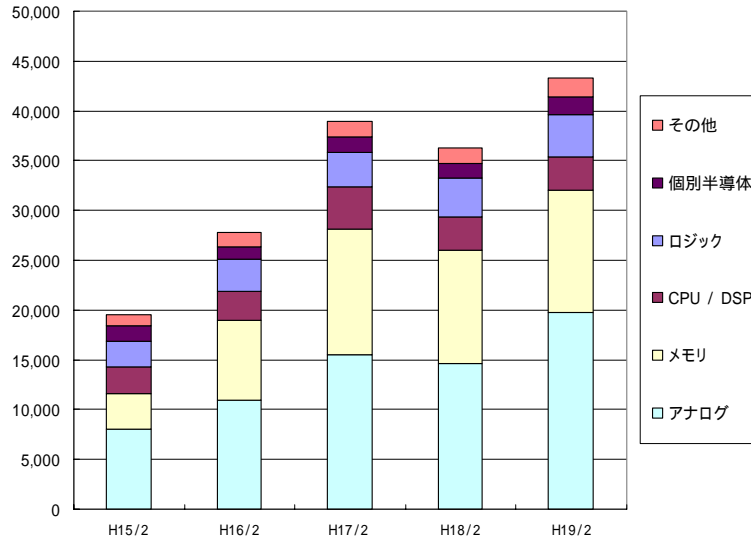
	平成18/2	平成19/2
総資産 (百万円)	23,938	27,126
純資産 (百万円)	18,598	20,045
当期純利益 (百万円)	1,774	2,060
1株当たり純資産額 (円)	1,149.19	1,232.78
1株当たり当期純利益 (円)	107.54	127.51
自己資本比率	77.7	73.5
自己資本利益率(ROE)	9.9	10.7
営業活動によるキャッシュフロー (百万円)	1,103	713
投資活動によるキャッシュフロー (百万円)	550	530
財務活動によるキャッシュフロー (百万円)	515	944
現金及び現金同等物の期末残高 (百万円)	4,468	5,202
従業員数 (名)	248	269

連結業績の推移



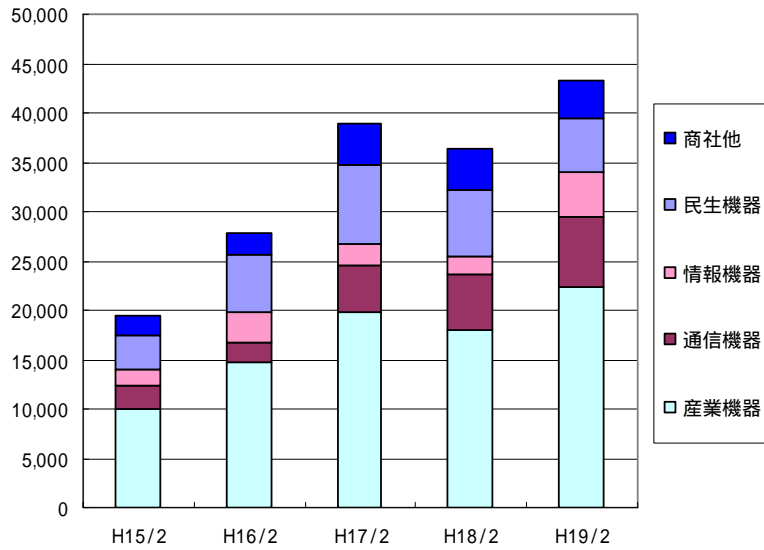
品目別売上高(単体)

百万円



用途別売上高(単体)

百万円



主な用途先と仕入先メーカー(単体)

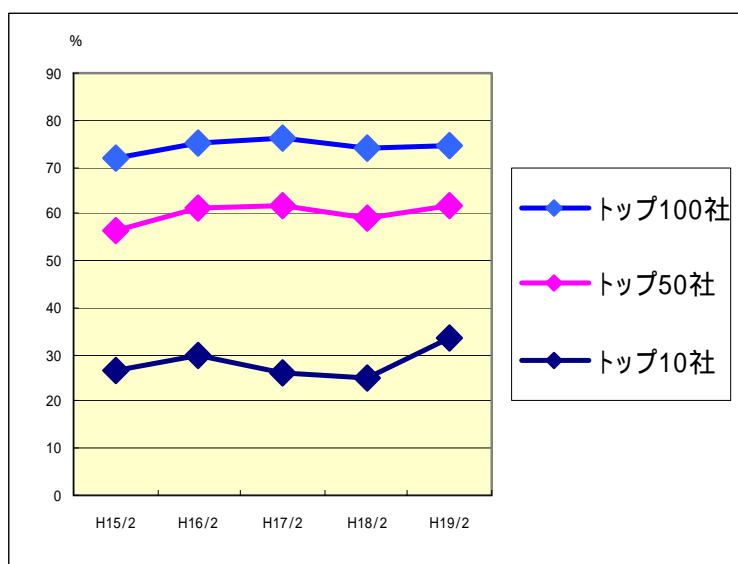
主な用途先

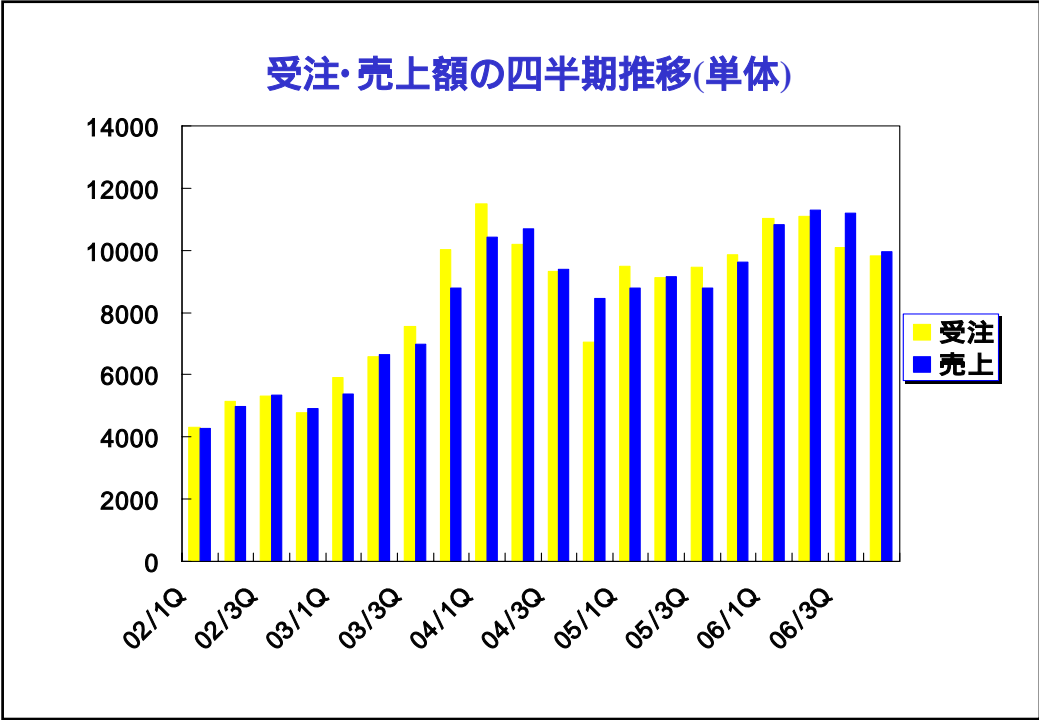
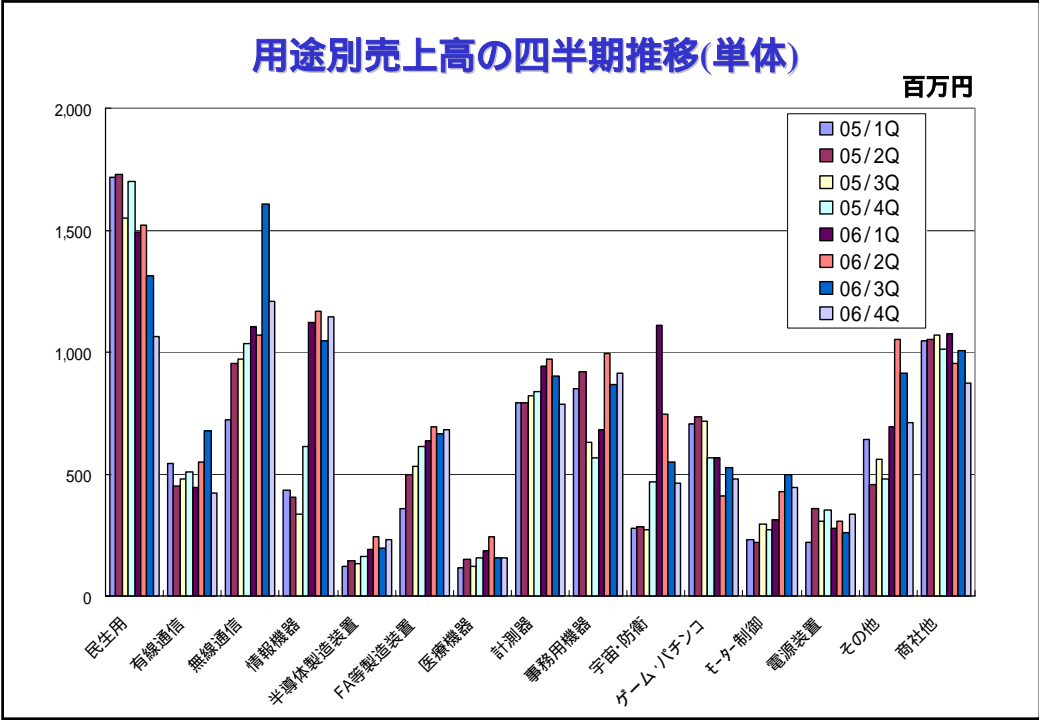
産業機器	F A 機器等製造装置 半導体製造装置 計測器 事務機器 医療機器 電源装置 宇宙・防衛関係 アミューズメント
情報機器 民生機器	PC 及び周辺機器、サーバ等 デジタルカメラ、DVDレコーダ、カーオーディオ、カーナビ等

主な仕入先

個別半導体	フリースケールセミコンダクタ
アナログIC	アナログデバイス、テキサス・インスツルメンツ、ナショナルセミコンダクタ、サイベックス
メモリIC	マイクロン、サイプレス、SST
ロジックIC	テキサス・インスツルメンツ、川崎マイクロエレクトロニクス、サイプレス、オンセミコンダクター、ラティスセミコンダクター
CPU / DSP	テキサス・インスツルメンツ、フリースケールセミコンダクタ、アナログデバイス、川崎マイクロエレクトロニクス

客先売上順位別比率(単体)





受注・売上の四半期推移(単体)

			前年比	前四半期比
受注	2005/1Q	9,475	82.4	134.7
	2Q	9,111	89.3	96.2
	3Q	9,450	101.4	103.7
	4Q	9,854	140.1	104.3
	2006/1Q	11,032	116.4	112.0
	2Q	11,080	121.6	100.4
	3Q	10,094	106.8	91.1
	4Q	9,830	99.8	97.4
売上	2005/1Q	8,774	84.0	104.0
	2Q	9,146	85.6	104.2
	3Q	8,792	93.8	96.1
	4Q	9,610	113.9	109.3
	2006/1Q	10,837	123.5	112.8
	2Q	11,299	123.5	104.3
	3Q	11,187	127.2	99.0
	4Q	9,970	103.7	89.1

平成19年2月期のまとめ

1. 上期は受注・売上とも順調に増加したが、下期に入ると民生機器の生産調整や産業用設備機器などでも調整が入り、上期を上回ることができなかった。
しかし、通期では、連結で売上・経常利益が、単体で、売上・経常利益・純利益が、過去最高を更新した。
2. 単体では、大型コンピュータなど情報機器、携帯電話の基地局など通信機器、FA機器など各種産業機器向けが好調でしたが、デジカメなど民生機器、パチスロなどアミューズメント向けは低調。また、大型の人工衛星プロジェクトも貢献した。
連結では、海外現法が好調で、売上・利益とも連結に貢献した。
3. 仕入先では、マイクロンのDRAMは供給難から売上 4億円となるも、CMOSセンサが15億円の増加となった。また、上期に大口顧客の商標移管のあったナショナルセミコンダクタは引継ぎも順調に進み大幅増加となった。(移管分は13億円の寄与)
4. 受注は、1月から増加傾向になり、特に2月からはマイクロンのDRAMの回復が顕著。足元もこの傾向は続き、マイクロン以外も回復が見られ、サイクル的には転換点を越えたと考えられる。

平成20年2月期 重点方針

- **新規商材による売上拡大**
 - NS、ラティス、SST、サイパックスなど
- **アジア拠点へのサポート強化による売上拡大**
- **成長に向けた顧客開発の強化**
 - 大手電機グループ、中小先のブロード開拓徹底
- **MCRビジネス拡大への顧客リレーション強化**
- **営業・技術人員増強を活用したビジネス拡大**
- **粗利率UPへPlan・Do・Check・Actionの徹底**

平成20年2月期 連結予想

単位:百万円

	平18/2	平19/2	平20/2		
				前期比	前期比
売上高	39,963	46,394	116.1	51,100	110.1
粗利率	15.9	15.9		16.3	
営業利益	2,674	3,266	122.1	3,947	120.8
経常利益	3,420	3,817	111.6	4,219	110.5
当期純利益	1,774	2,060	116.1	2,363	114.7

平成20年2月期 単体予想

単位:百万円

	平18/2	平19/2	前期比	平20/2	
					前期比
売上高	36,324	43,294	119.2	47,000	108.6
非マイコン	26,126	31,967	122.4	35,500	111.1
マイコン	10,198	11,327	111.1	11,500	101.5
粗利率	15.2	14.5		15.0	
営業利益	2,544	2,958	116.3	3,498	118.2
経常利益	3,350	3,550	106.0	3,800	107.0
当期純利益	1,818	2,077	114.3	2,215	106.6

平成20年2月期(38期) 上期・下期内訳

(単位:百万円)

	連結			単体		
	上期予想	下期予想	通期予想	上期予想	下期予想	通期予想
売上高	23,800	27,300	51,100	22,000	25,000	47,000
営業利益	1,702	2,245	3,947	1,531	1,966	3,498
経常利益	1,819	2,399	4,219	1,666	2,133	3,800
当期純利益	1,019	1,343	2,363	971	1,243	2,215

WSTS(世界半導体市場統計)市場予測

伸び率:%

市場	予測	02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年
日本 (円)	06/5	5.3	18.3	10.0	2.0	14.0	9.0	11.0	
	06/11					11.3	6.6	10.7	3.5
世界 (\$)	06/5	1.3	18.3	28.0	6.8	10.1	11.0	12.8	
	06/11					8.9	8.6	12.1	4.7
野村 證券	07/1					8.9	9.6	8.9	2.3

最近のトピックス(1)

アジア拠点の高成長本格化

1. 前期より、香港、シンガポール現地法人に本体から営業マンを派遣し、香港は、売上高約2倍・利益拡大、シンガポールは、利益体質に転換。
2. また、04年9月開設の上海現地法人は06年12月期に累損一掃。売上・利益拡大も順調に進み、今後は連結化も視野に入る。
3. 3拠点合わせて、今後3年見込みは、売上が毎年50%アップ、利益も大幅拡大。3年後で、売上100億、経常利益約4億見込み。
4. 成長加速に向け、体制強化を図り、日本からの移管ビジネスの更なる拡大と現地の開発拠点やEMS先の売り込み強化による拡大を目指す。

最近のトピックス(2)

人材拡充

営業、技術系人員の採用拡大中。中途採用は、業界経験のある即戦力優秀人材を確保。今後も戦力拡充に向け同規模採用継続。

昨年4月新卒採用 15名、昨年 中途採用 9名

今年4月新卒採用 20名、今年 中途採用 10名予定

ISO9001の認証取得

本年1月、品質マネジメントシステムの国際規格である「ISO9001」を、環境マネジメントの同規格「ISO14001」に続き取得。

お客様満足度向上に向けた「業務品質向上活動」により、ビジネス拡大に資する体制を整えた。

最近のトピックス(3)

平成19年2月期 配当増額

1. 前期は、普通35円＋記念5円の年間配当40円。
今期は、普通配当を5円増額して年間配当40円に。
2. 配当性向は、31.1%と、引き続き30%以上をキープ。
3. 今後も引き続き、積極的な利益還元を図っていく。

新システム開発スタート

業容拡大に伴う業務効率化、業務支援強化、さらにJ-SOX法など内部統制システム構築などを踏まえて、来年下期稼働を目指して、新業務システム開発をスタートした。併せて、業務プロセス改革・IT戦略機能の強化のため業務推進室を新設した。